

一般質問通告書

令和5年9月定例会

1番 前田浩司議員（一問一答）

1 緊急通報システム「安心相談ナースホン」の普及について

現在、高齢化率は27.7%、4人に1人以上が65歳以上の高齢者である。10年後には、高齢化率は33.7%、3人に1人が65歳以上の高齢者となり、高齢者1人を2人で支えていくと予測されている。これからは高齢者が、住み慣れた地域で最期まで暮らすためには、専門職と地域の連携が必要である。高齢化が進行し、高齢者の独り暮らしが増えており、こうした方々が孤立することなく、住み慣れた地域で引き続き安心して暮らすことができる環境を整えることが求められている。こうしたことから、高齢者等の見守り支援の必要性は今後、さらに高まっていくと考えられる。

- (1) 緊急通報システムにはどのような機能があるのか。
- (2) 緊急通報システムを普及できているか。（設置件数・活用状況）
- (3) 緊急通報システムの利便性と今後の取組はどうか。

2 要配慮者の支援体制の整備について

高齢者、障がい者等は、災害時の行動等に多くの困難が伴い、また、避難生活では厳しい環境下に置かれるなど、特に支援が必要な要配慮者となることから、平常時からこれらの要配慮者に配慮した防災対策を推進し、安全確保体制を更に強化しておく必要がある。

- (1) 要配慮者を事前に把握しているか。
- (2) 在宅で独り暮らしの高齢者等に緊急通報機器を普及できているか。
- (3) 聴覚障がい者等に文字放送受信装置を普及できているか。
- (4) この二つの災害情報伝達による避難対策を整え、避難体制を構築できているか。

3 地域福祉における民生委員の本市の現状と課題について

民生委員は昨年11月30日に3年の任期が終了し、同年12月1日に全国一斉に改選されたが、定数24万547人に対し、委嘱されたのは22万5,356人とどまった。定数より1万5,191人もの欠員は戦後最多とみられ、2010年と比べ約3倍に増加している。特に近年は、独り暮らしの高齢者や生活困窮世帯の増加、児童虐待の深刻化などで民生委員の重要性は増してきている。生活課題は様々に変化し、また多種多様化しており、委員の活動の負担も重くなってきているにもかかわらず、常

に地域に寄り添い、課題を解決するための活動にも取り組まれている。

- (1) 民生委員・児童委員の充足状況はどうか。
- (2) 民生委員・児童委員にどのような活動を期待しているのか。
- (3) 欠員補充や担い手確保について、どのように取り組んでいるか。

2番 吉永美子議員（一問一答）

1 動物愛護について

- (1) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の補助金について、現状はどうか。
- (2) 猫の適正飼養等ガイドラインをどのように活用しているか。

2 防災について

- (1) 昨年の9月定例会で質問した個別避難計画の策定について、進捗状況はどうか。
- (2) 罹災証明書を発行するにあたり、民間と連携する自治体についての評価を聞くとともに、本市における導入は考えられないか。

3 公式LINEの効果と活用について

公式LINEを開始したことによる効果と今後の活用について、どのように考えているか。

4 市民の健やかな生活を守るために

- (1) 全国で導入が進んでいる帯状ほうしんワクチン接種への助成制度の導入について、必要性を考えないか。
- (2) 保育の重大事故を防止するために、政府がまとめた「ヒヤリ・ハット」集の活用状況はどうか。

5 学校図書館の整備について

国の第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき、本市においてはどのように、学校図書館の整備が進んでいるのか。

3番 山田伸幸議員（一問一答）

1 宇宙監視レーダー建設の諸問題について

- (1) レーダー基地の警備体制は怎么样了のか。
- (2) レーダー電磁波の被害防止は怎么样了のか。
- (3) レーダー電波の出力は怎么样了のか。
- (4) 基地周辺にある菊川断層は地震発生時に周辺に大きな影響が出るのではないのか。

2 水道料金値上げについて

- (1) 今定例会に議案として水道料金値上げが提出されたが、市民生活に重

大な影響を及ぼす今回の施策は自治基本条例にのっとって行われたか。
(2) 諸物価高騰の中で水道料金の約20%の値上げは市民生活に打撃となりはしないか。

(3) 生活困窮者に向けた生活支援対策は考えていないか。

3 藤田市長が力を入れている生成AIの導入について

(1) 市の業務にどのように取り入れるのか。

(2) 生成AIの導入に対して、慎重な対応が必要ではないのか。

4番 岡山 明 議員 (一問一答)

1 避難所や避難場所にもなる学校施設等の体育館の整備状況について

(1) 対象となる小中学校の体育館は、どこが指定避難所となっているか。

(2) 過去に指定避難所として開設し、使用された学校・体育館はどの程度あるか。(日数・人数)

(3) 指定避難所となる学校施設の防災機能(生活確保に重要な機能、断水時のトイレ、照明、情報通信、備蓄、要配慮者への対応等)は確保されているか。

(4) 学校施設以外の指定避難所として開設回数が多い体育館に、エアコンを設置してはどうか。

2 道路の維持管理について

(1) 民地・河川・JR等ののり面と市道及び歩道との境界線の管理として、草刈りはどこがするのか。

(2) 街路樹の根上がりによるトラブル、苦情が出ているが、補修する考えはないか。

(3) 高木の街路樹(県道ののり面での高木も含む)の管理状況はどうか。

3 投票支援カードの有効利用について

(1) 投票の際に支援が必要な障がい者や高齢者に対し、サポートできているか。

(2) 今後、投票支援カードを取り入れてはどうか。

5番 伊場 勇 議員 (一問一答)

1 本市に関わりのある方の功績に対して、市の対応や取組について

(1) 小野田市表彰条例によると、被表彰者の決定は市長が別に定める表彰審査委員会に諮り決定するとある。市民感情を考えれば、功績に対しスピード感を持った対応が必要であると考えます。

ア 被表彰者等を決定する表彰審査委員会はなぜ必要なのか。

イ 今まで、どのようなタイミングで表彰審査委員会は設置されてきた

のか。

ウ 表彰審査委員会を設置しなくとも、被表彰者を決定できる体制をつくることはできないのか。

(2) 本市には、本市のファンと市が思いや情報を共有し、連携することができるスマイルプランナー制度があり、その中で特に本市の魅力を発信していただける方や全国に勇気と笑顔を与えている方を市長がスペシャルスマイルプランナーに任命している。そこで、市民から希望し、登録される仕組み以外にも、本市に関わりのある方の功績を市が積極的に称え応援し、また本市の魅力等の発信をお願いする取組が必要であると考ええる。

ア 日本や世界で活躍している、本市に関わりがある方に対して、これまで本市はどのようなアプローチをしてきたのか。

イ 現在日本や世界で活躍されている方を称え、今後も応援していく取組によって得られる効果をどのように考えているか。

ウ 市から本市の思いや考えを対象者に伝え、本市の魅力を全国に発信し、知名度アップや産業・文化・観光の振興を目指すため、ふるさと大使に任命する等の制度を導入する考えはないのか。

2 ゴルフのまちとしての取組について

令和4年6月定例会において、ゴルフ場の活用について質問したが、その後の取組や状況について伺う。

(1) インバウンド対策について

ア 支援の状況はどうか。

イ 本市は観光庁が支援するインバウンド受入環境整備高度化事業等の補助事業の対象市区町村に指定されていないが、そのことについてどのように考えているのか。

(2) ゴルフ場の運営に対してできる支援があるか。

(3) 本市の特徴や強みと掛け合わせて、来場者の満足度を上げる取組についての考えはあるか。

(4) ゴルフのまちとして発信する具体的施策として、他市との境目の道沿いや高速道路インターチェンジの出入口等に看板を設置する考えはあるのか。

6番 古豊和恵議員（分割質問・分割答弁）

通学路の安全確保について

子どもたちが安心して学校生活を送る上で、通学路の安全性を高めることは、早急に取り組むべき問題だと考える。

現在、通学路の安全性について、どのように把握し、安全を確保するために今後、どのように施策を展開していくのか。

(1) 通学路の危険箇所の現状把握と周知の方法、その後の対応をどのように行っているか。

ア 通学路の危険箇所について、現状をどのようにして把握しているか。

イ 危険箇所を把握したときに、子どもや保護者への周知、関係機関との連携をどのように行っているか。

ウ 危険箇所は市内全域で何か所あるか。そのうち、年間で何か所くらい危険箇所が解消できたか。

エ 危険箇所改善の優先順位はどのようにして決めているか。

オ 何年で改善できていない危険箇所を解消する見込みか。

カ 危険箇所の改善のための予算は十分確保されているか。

(2) J R 小野田駅の北側、小野田高校の下を通っている市道くし山線は、車の交通量が増え、かつスピードを出す車が多いが、その現状と今後の整備の見通しはどうか。

ア 市道くし山線を西側から不二輸送機工業に向けて車を走らせると、県道小野田美東線に接する手前の横断歩道が見落とされがちである。高校生の横断が一番多いが、小中学生も横断し、やはり危険である。その現状をどう捉えているか。

イ ドライバーへの啓発も併せて、具体的な対応方法はあるか。

(3) 厚狭川沿いの日本化薬厚狭工場付近の県道津布田郡線では、高校生が自転車通学しているが、歩道が一部しかない状態で、車道も狭く、道路の起伏により土砂がたまり、草も生えている。大雨等の場合、道路に水がたまって通学が困難となり、危険であるが、その現状の把握と今後の整備の見通しはどうか。

ア 子どもたちの安全のためには、この区間を通じた歩道が必要だと考えるが、県道が狭い状況ではすぐに改善できないと思われる。道路の路面の起伏の解消や歩道の無い区間で待避所を設けることを県に対して要請できないのか。

イ 将来的に、歩道の整備が必要と考えるが、このことについて県に要請できるか。

7 番 矢 田 松 夫 議員 (一問一答)

1 市立ねたろう保育園の床上浸水について

(1) 浸水被災後の対応について問う

市長は床上浸水をした園舎を見て、どのように思い、対応されたのか。

- (2) 浸水被災の起因について問う
 - ア 建設場所は適正であったのか。
 - イ 建設時において、浸水を想定できなかったのか。
- (3) 浸水被災後の保育園運営について問う
 - ア どのような感染症対策をしたのか。
 - イ 洪水時の避難確保計画について、計画どおりに進められたのか。
- (4) 浸水被災後の園舎改修工事について問う
 - ア どのような改修工事を実施するのか。
 - イ 既存擁壁の嵩上げや門扉(ゲート)の設置等による浸水防御対策はすべきではないのか。
 - ウ ベタ基礎上にたまった雨水を完全に除去できたのか。
 - エ 南側靴脱ぎ場は、雨水が園舎内に入り込み、浸水の原因にもなる。対策を講じるべきではないのか。
 - オ 改修の工事期間中の安全対策をどのように考えているのか。

2 廃止された公共施設について

- (1) 廃止された市立保育所の状況について問う
 - ア 園舎を解体し、原状回復工事をするのか。
 - イ 建物や器具類を再利用しないのか。
- (2) 旧厚狭公民館跡地、旧埴生小学校体育館の利用を今後どのように考えているのか。

8番 中島 好人 議員 (一問一答)

- 1 健康保険証を廃止してマイナ保険証に一本化することについて
 - (1) マイナ保険証よるトラブルが全国で相次いで起きているが、こうした事件について藤田市長は、どのように捉えているか。
 - (2) トラブル発生について本市の現状と防止体制はどうなっているのか。
 - (3) マイナ保険証が医療機関の窓口で使えないケースが40万件以上とされている。市民病院においてはトラブルはなかったのか。
 - (4) 国が指示してきた、ひも付け調査に市職員がどのように関わったか。
 - (5) 保険証を廃止してマイナ保険証への一本化は、市民から保険証を奪い無保険者をつくり出してしまう制度であり、皆保険制度を堅持する立場からも、保険者である市長が、国に対し、健康保険証廃止の撤回を強く求めるべきではないか。
- 2 子育て支援について
 - 子どもの医療費無料化を高校生にまで拡大できないか。
- 3 生活保護行政について

- (1) 通院移送費制度について、どのように周知徹底を図っているか。
- (2) 生活保護利用者の当事者の申出について、どのように捉えているか。
- (3) 通院移送費の申請を控えている人にも、申出しやすい環境づくりを進めていくには、ケースワーカーの役割が大変重要だが、どのように進めていくのか。

4 災害対策について

- (1) 有帆校区での避難所開設時に、きちんと情報伝達できていないのではないか。
- (2) 有帆緑地管理棟をどのように位置づけているのか。